

ボランティア支援センター向け

「地図太郎」操作マニュアル

その1

地図を取り込んで拠点を打つ

がんばれ東北！！

© itochiri 2011

<http://www.itochiri.jp/>

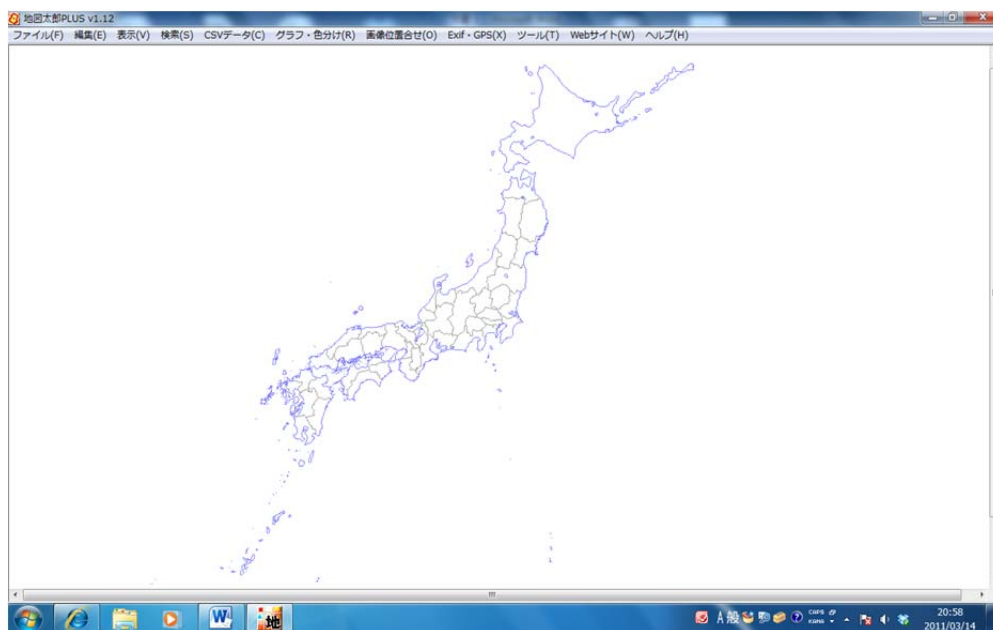
伊藤智章

静岡県立吉原高校 地理教諭／総務課防災係

(1) 地図の取り込み

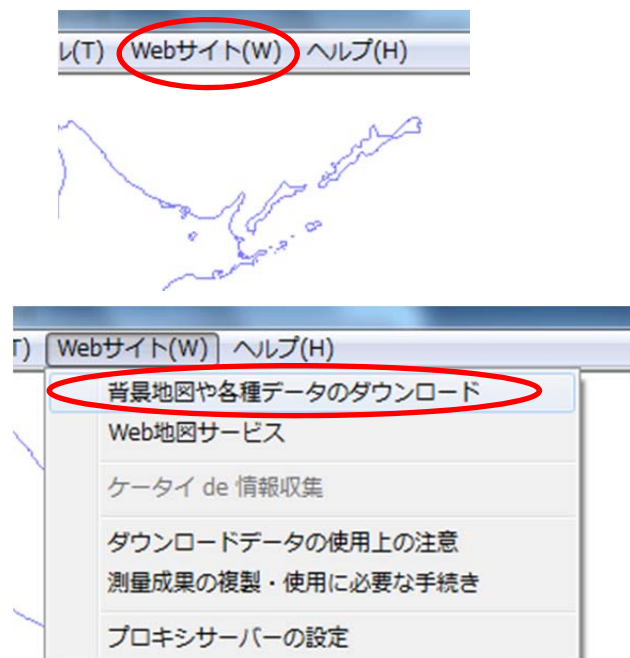
地図太郎では、インターネット経由で様々な地図を取り込むことができます。

① 地図太郎を開きます。(初期画面)



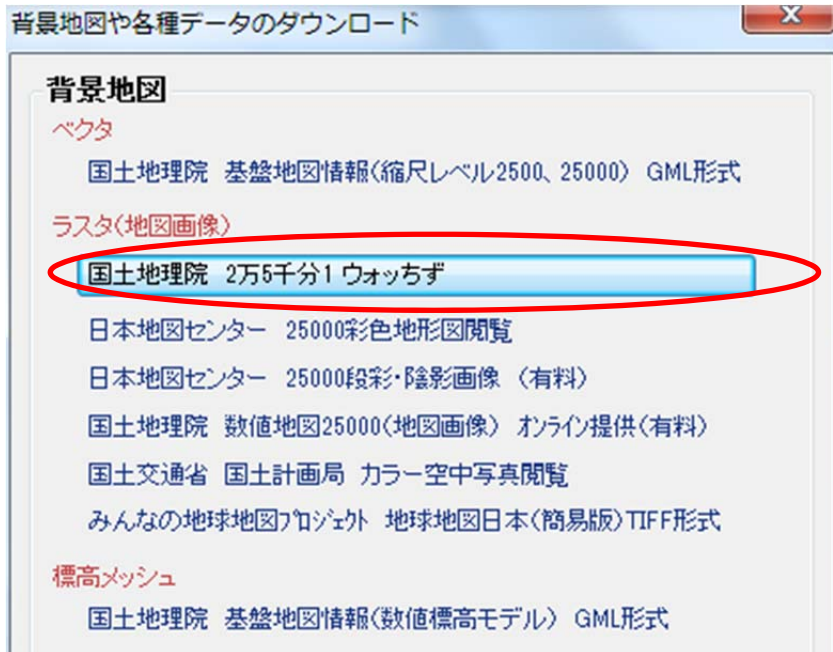
② 読みこむ地図を選びます。“Web サイト” をクリックします。

③ 背景地図や各種データのダウンロードを選びます。



④ 地形図を取り込んでみましょう。

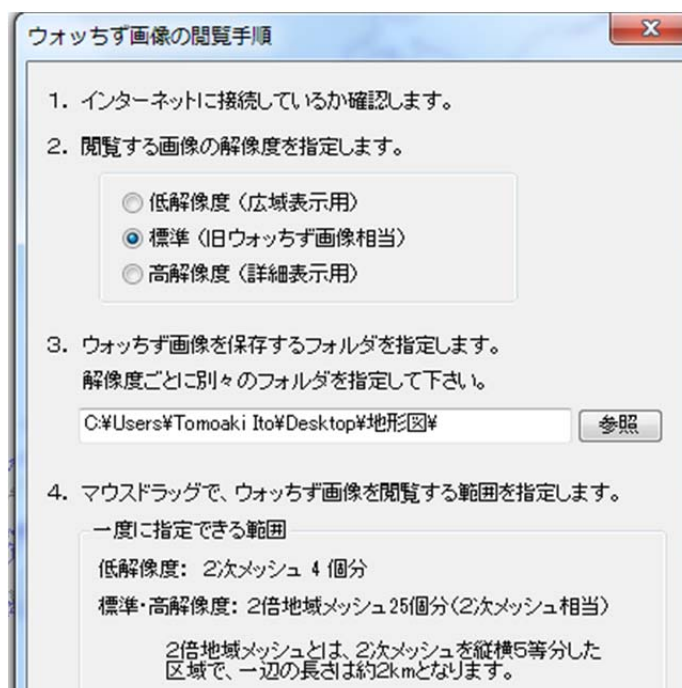
「国土地理院 2万5千分の1 ウォッチず」をクリックします。



⑤ 地形図画像の

解像度とを保存するフォルダを指定します。

ここでは、デスクトップに「地形図」というフォルダを作りました。

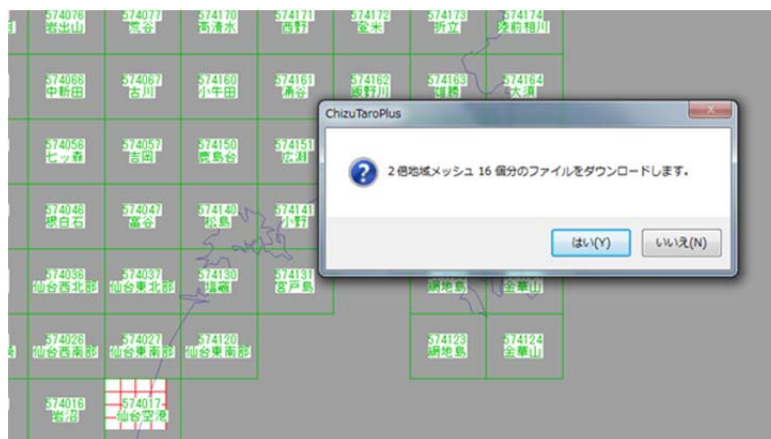


⑥ 地形図選択画面が出ますので、必要な場所を範囲指定します。

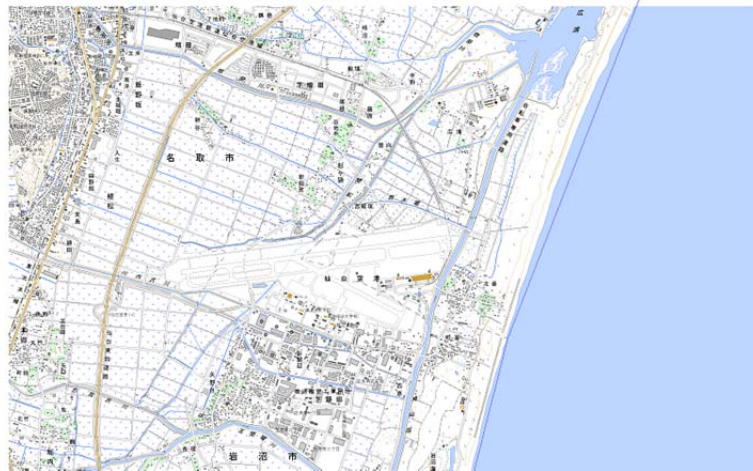
「範囲が大きすぎます」という知らせが出たら、選択範囲を狭くします。



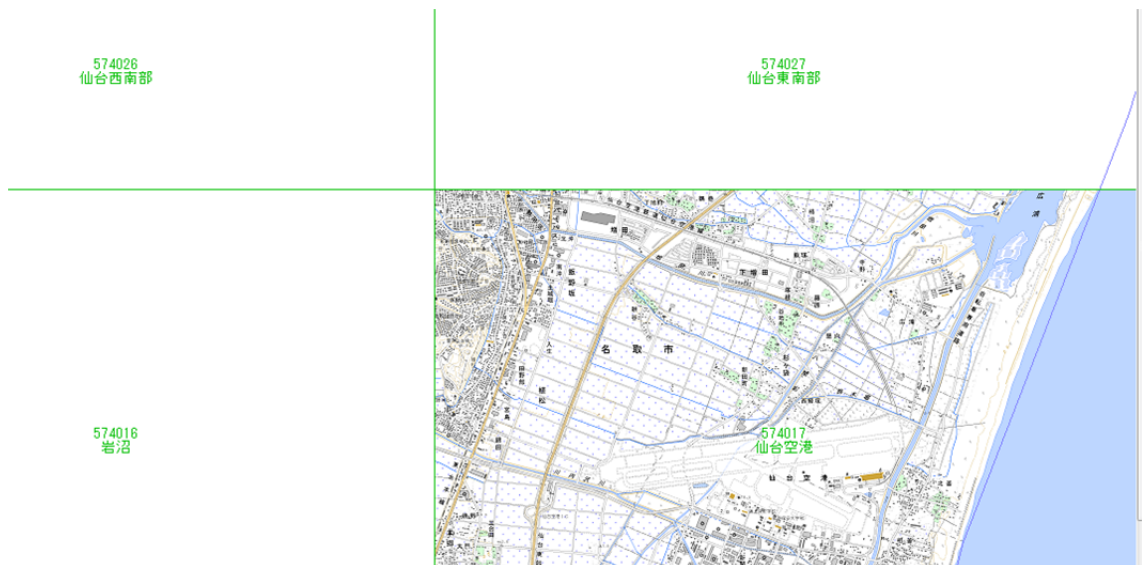
こんな
感じです。



⑦ ダウンロードが完了すると、地形図が表示されます。

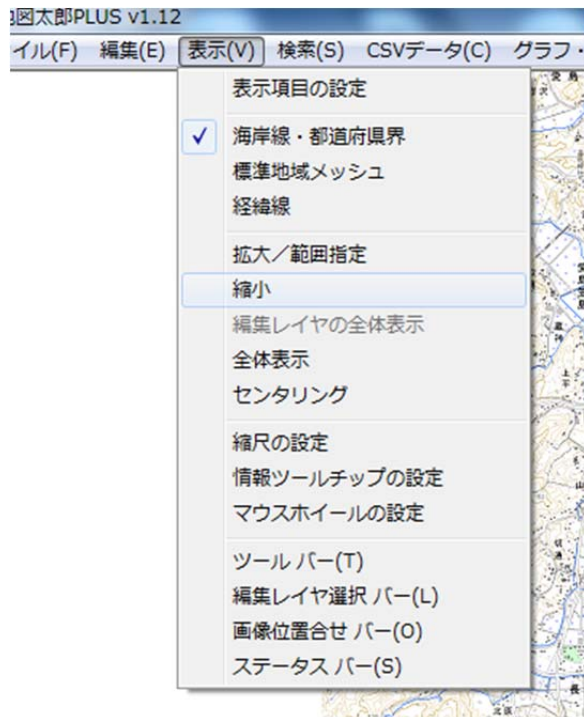


- ⑧ 追加のダウンロードをして、読み込む範囲を広げたいときは、
②～⑤の作業を繰り返してください。地形図の横に先ほどの選
択画面が現れますので、⑥と同様に範囲指定します。



- ⑨ 初期画面の青い海岸線を消したい場合、もっと広く見渡したい

場合は、「表示」からコマンドを選んでください。



地形図に様々な情報を書き込んでみましょう。

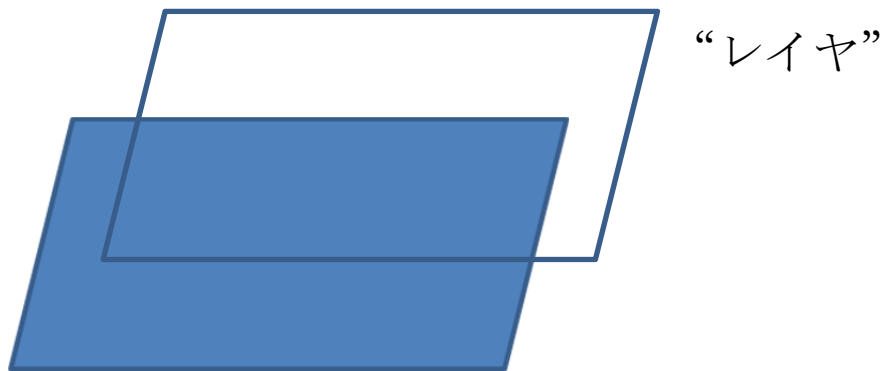
例 1) 点データを載せる

名取市役所に点を打ち、情報を重ねてみます。

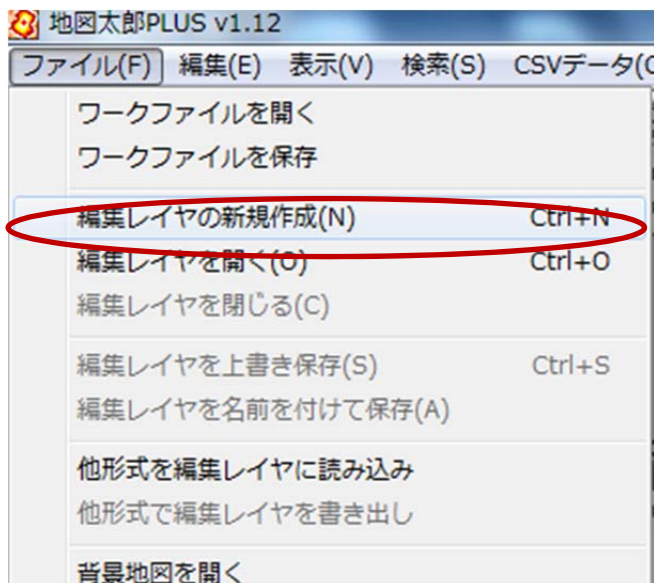
①地図を拡大します (表示→拡大／範囲指定)



②点を打つ「レイヤ」(透明な作業シート)を作ります。

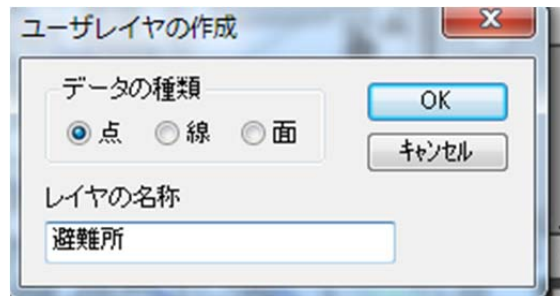


地形図 (ベースマップ)



「ファイル」
→ 「編集レイヤの
新規作成」

ここでは、「避難所」という名前の点レイヤを作ります。



③「点追加」という小さな文字と十字記号が出ますので、点を打ちたい場所に動かして、左クリックをします。そうすると、「属性情報」を聞く画面が出ます。



タイトルが入ります

空欄でもかまいません

後からでも適宜書き込めます

ローカル PC の画像等を貼り付けます

各機関のサイトや Web アルバムにリンクさせられます。

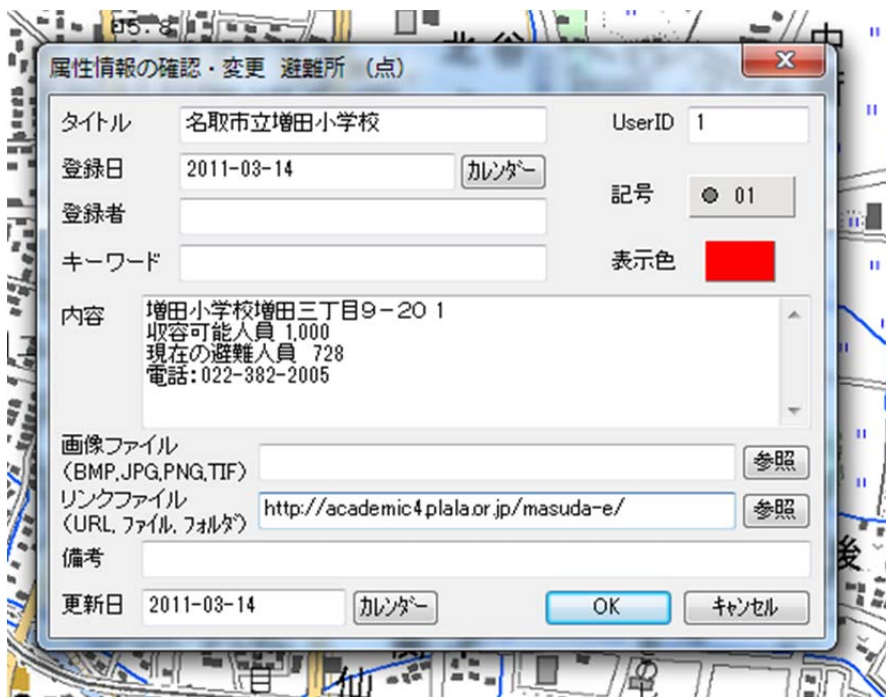
更新が頻繁な場合、入れておいた方がよいでしょう。

※Web 地図サービスから、Google Map を選ぶと、施設名等が調べられます。





「名取市立増田小学校」と判明。

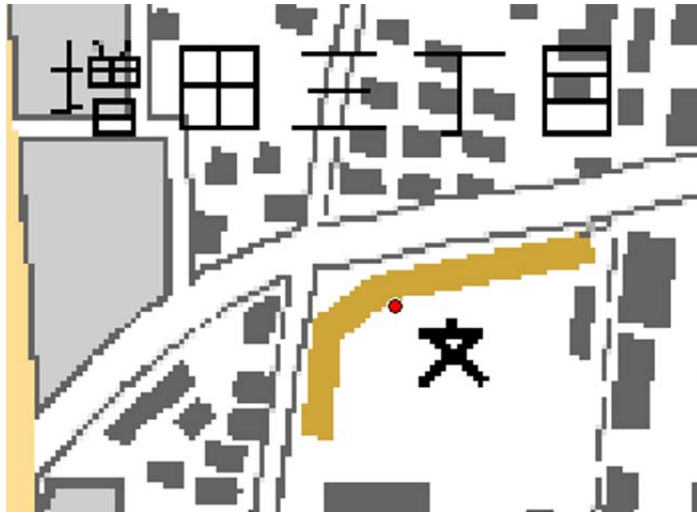


情報を入力して
みました。

(資料：
名取市ホームー
ページより)

OK をクリック
すると、地図上に

点が打たれました。



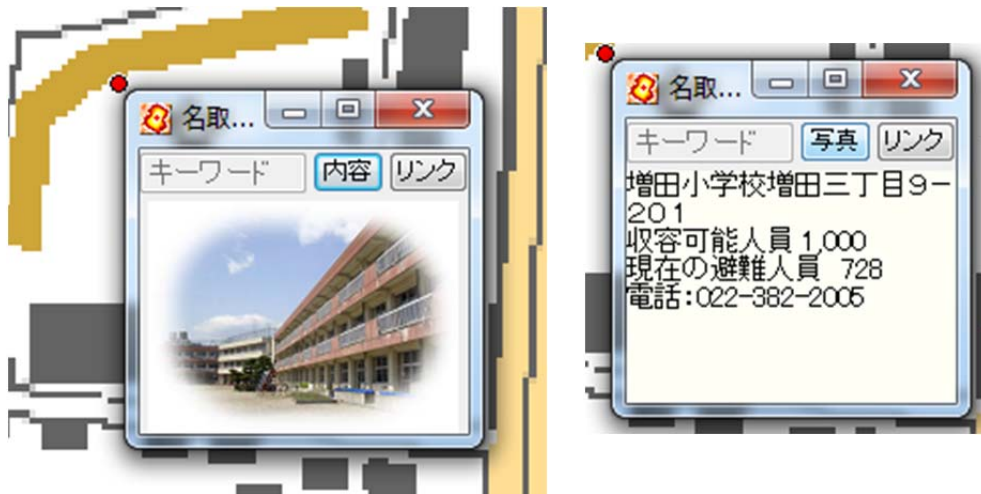
④ 情報の確認・修正

a. 地図太郎上で情報を確認する場合(閲覧専用)

(1) 「ツール」 → 「情報ウィンドウの表示」 を選びます。



(2) iマークの小さなアイコンができますので、表示したいポイントに合わせて左クリックをします。標準設定では、画像と各ボタンが表示されます。表示内容については、「ツール」→「情報ウインドウの表示設定」で変えてください。



b. 登録情報の修正

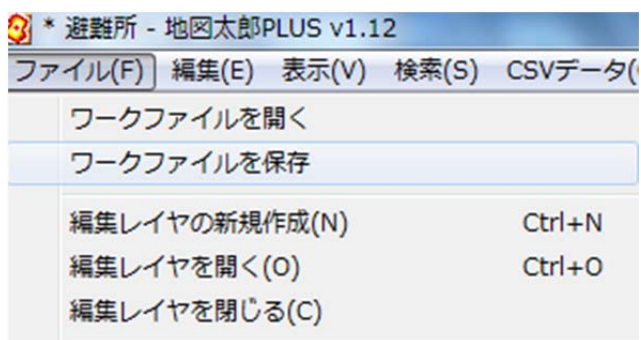
「編集」→「属性情報の確認・変更」を選択すると、指定した場所の内容を書き換えることができます。



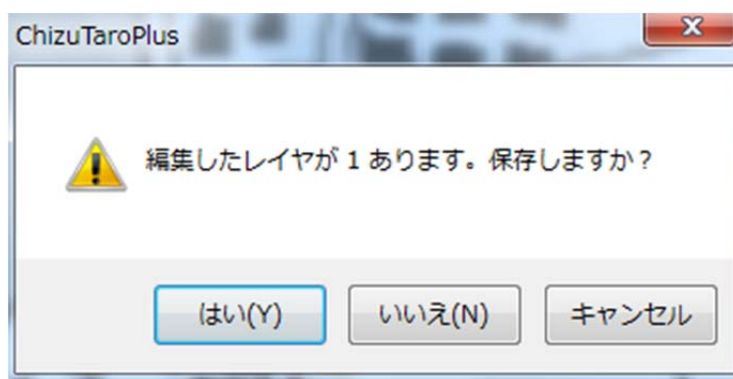
⑤ 作業ファイルの保存

作業ファイルは、地図、レイヤそれぞれを別々に保存する形を取りますが、開く際は、1つのファイルを開けば対応します。

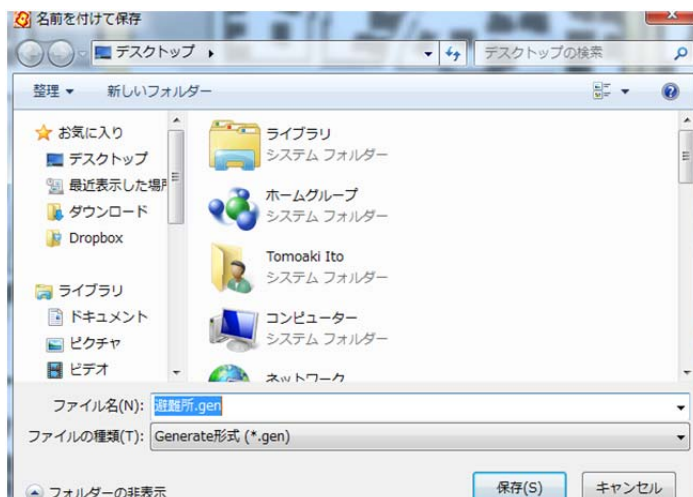
「ファイル」→「ワークファイルを保存」



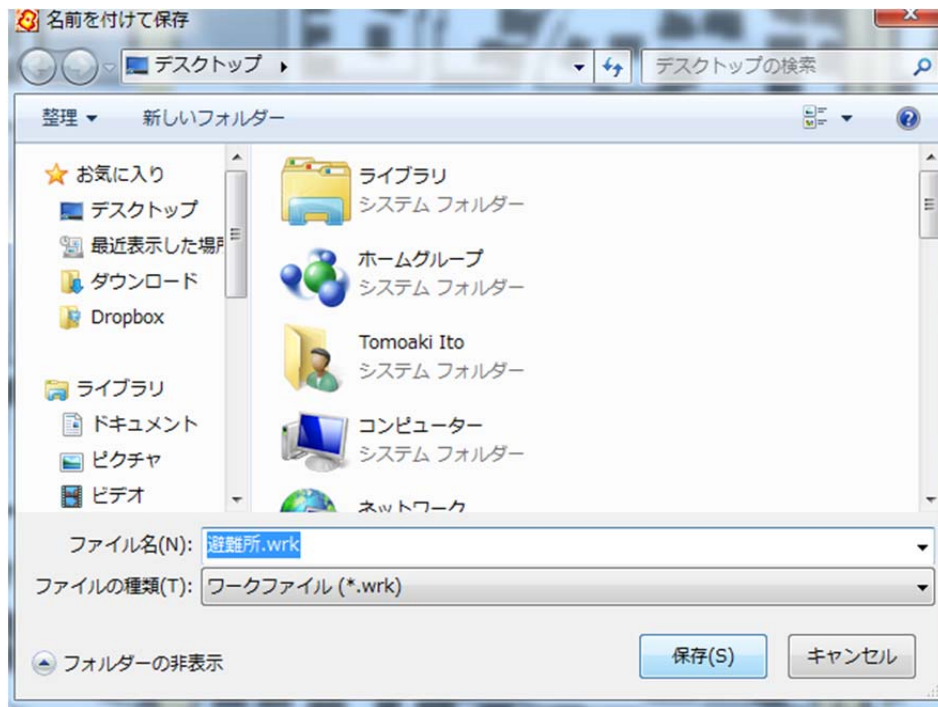
こう尋ねられますので、「はい」を選びます。



点データの保存名と保存先を決めます。



ワークファイルの保存先も聞いてきます。フォルダ等を作って
点データと同じ場所に保存するとよいでしょう。



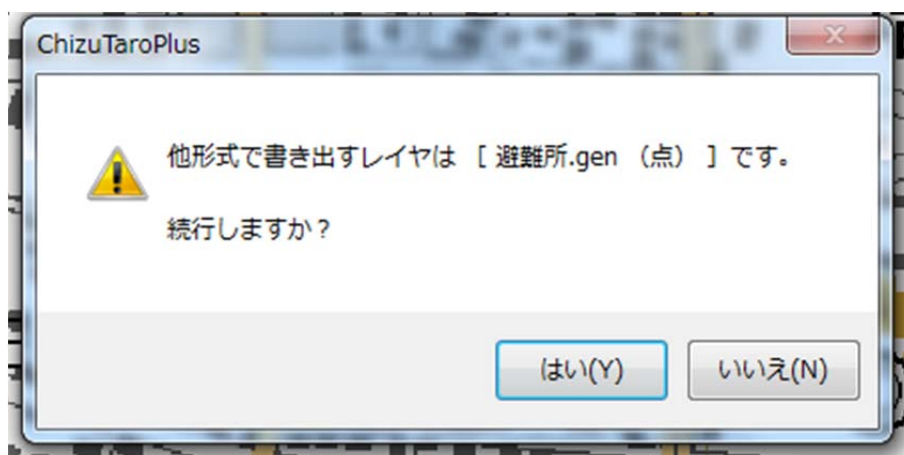
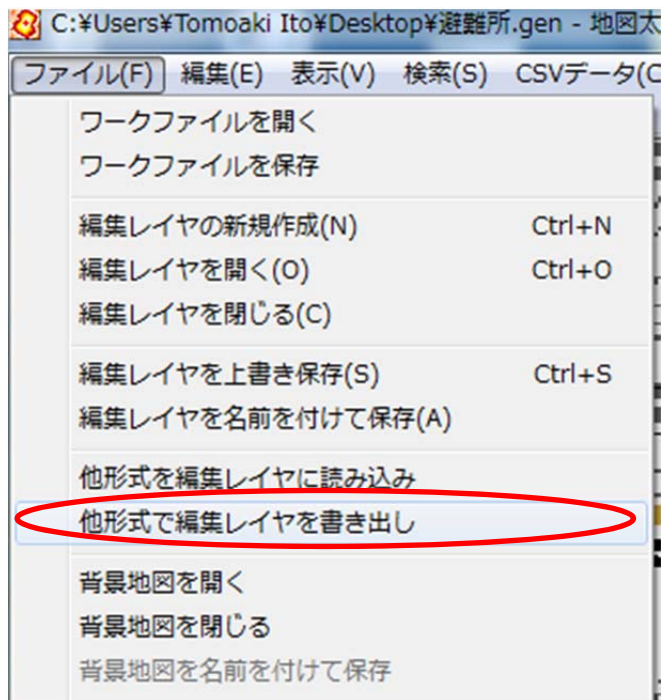
マップを作るのに関係するファイルは
全部でこの4つです。フォルダを作って
同じ場所に置いておくとよいと思います。



【公開する】

点データを KML ファイルで保存すると、Google Map や Google Earth に対応するので、公開するのに便利です。

(1) 「ファイル」→「他形式で編集レイヤを書き出し」を選びます。



(2) 「はい」を選択します。

(3) Google Earth KML ファイルを選択します。



表示したい内容を選んで OK をクリックし、
名前を付けて保存します。拡張子は KML です。



Google Earth で開いてみます。

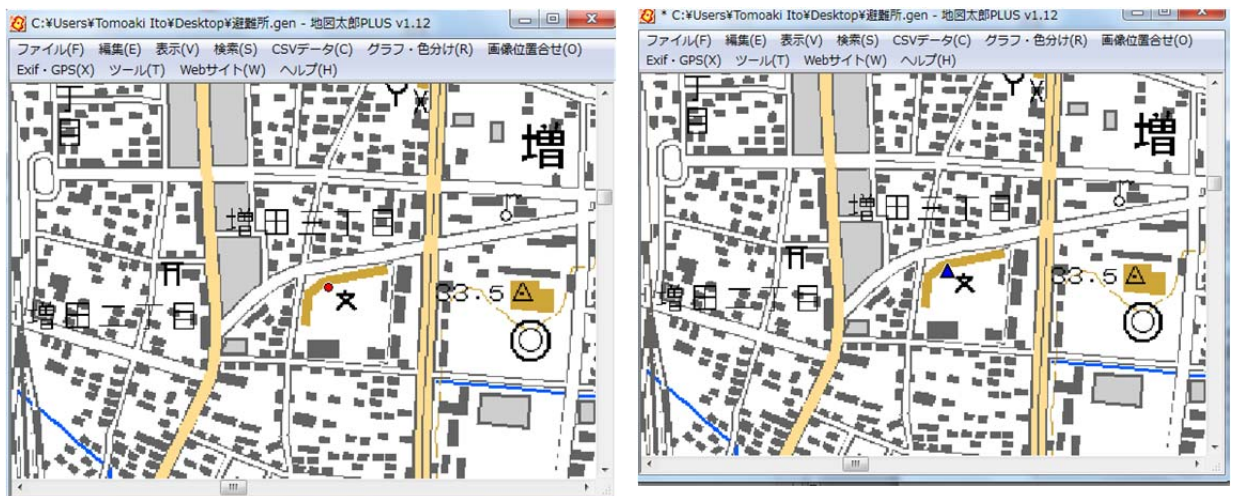


こんな感じになります。

Google Map にもすぐに切り替わります。

【使い方の提案】新潟県中越沖での教訓から

交通機関が整ってくると、たくさんのボランティア志望者がボランティアセンターを訪ねてくると思われます。ただ、ボランティアを必要としている場所の検索や派遣状況、土地勘のないボランティアへの誘導・案内事務が煩雑になります。刻々と変わる避難所や派遣先の情報を地図上で管理し、ベストマッチとなる場所を探したら、さっとその場所を Google Map に切り替えたり、付近拡大図を印刷して渡してあげれば案内の手間も省けます。



例：充足したら記号の形と色を変える。

★避難所の住所録から点を一括で入力する方法や、収容人員に合わせて記号の大きさを変える等の表現もできます。

別途マニュアルを書きます。

その1ここまで